

医療法人 尚寿会  
狭山尚寿会病院  
リハビリテーション部



コト医療©

# 理事長メッセージ

私たちの行っている正しい慢性期医療は、決して派手なものではなく、常に脚光を浴びているものでもありません。メディアなどで特集が組まれるヒーローを演出する様な超高度急性期医療でもありません。どちらかと言うと地味な存在です。しかし、限られた地域で、資源の中で、医療・看護・介護、そして福祉を通して社会へ貢献する私たちの存在は、必須なものです。

時にぞんさいな扱いを受けても、この地域で縁の下の力持ちとして絶大な存在価値があると信じて私は理事長をしています。

正しい慢性期医療とは、法人理念と職員心得12カ条全ての集約です。理念を追求し、地域に貢献し続けるためには、先ず現場の職員が皆幸福であることがとても大切であると思っています。現場での職員同士の良好な関係性は驚くほどに生産性を向上させます。それは患者さん・利用者さんの利になります。

母体の医療法人は40年以上の老舗ではありますが、まだまだ発展途上です。将来のためにまだまだ文化に変化が必要です。多様性がさらに認められ、様々な個性が良識の上で協働し、誰しものが育てる・育ててもらえる文化への進化です。私たちの目的は、自身たちの存在意義を共通した価値観とし、職員一丸となって地域全体を支えていく事です。そうする事で、この厳しい時代をも幸福で満足感をもって生きていけるとしています。



医療法人尚寿会 理事長  
狭山尚寿会病院 院長  
寶積 英彦

# 法人理念

～信頼と愛とで築く地域医療～

尚寿会は狭山市・所沢市・入間市(人口70万人)を診療圏に、高齢者慢性期医療のパイオニアとして、回復期から慢性期医療・在宅医療・介護予防・予防医療を展開。患者様一人ひとりの幸せを重視した、環境づくりに取り組んでいます。高度急性期医療を支える後方支援・地域高齢者の慢性疾患増悪時の緊急対応・在宅復帰までに長期間を有する方へ、より良い支援に取り組んでおり、これからも「尚寿会病院へ行けば何とかしてくれる」病院づくりを常に念頭に、全職員の団結をもって変化の激しい未来に歩んでいきます。



# 法人概要

法人名	医療法人 尚寿会 (リョウジュンショウジ ユカイ)
所在地	〒350-1317 埼玉県狭山市水野594番地
設立	1979年2月1日
資本金	1億6,974万円
代表者	寶積 英彦
従業員数	1,030名
事業所	狭山尚寿会病院(認知症疾患医療センター)、介護老人保健施設 愛、大生水野クリニック、在宅サポート21狭山訪問看護ステーション、在宅介護支援センター21彩、狭山市入曽地域包括支援センター、わが家入曽(サービス付き高齢者向け住宅)
グループ法人	社会福祉法人尚栄会(特別養護老人ホーム福寿の里、水野地域包括支援センター)

## グループ価値観「コト医療<sup>®</sup>」

「コト医療」とは、医療介護福祉サービスと共に情緒的な価値・経験を提供することです。従来から病院で提供されている手術・処置・処方などが「モノ医療」、それに対してより満足感が得られる体験を提供するサービスを「コト医療」と名付けました。私たちはこの情緒的な価値・経験の提供を尚寿会グループの根底にある価値観であることを内外へ発信しています。

病棟でのレクリエーションや院内で調理する自前給食の提供、お花見や鯉のぼり等を通じて少しでも患者様に喜んでいただきたいという精神は開院当初から尚寿会に根付いている文化です。出来ることなら「入院しても人生を楽しんで欲しい。年を重ねても人生を謳歌して欲しい。」と、私たち職員は常に願っています。そのためには本業である良質な医療介護福祉サービスの提供は当然として、そこに「コト医療」がある事が大切だと考えています。「コト医療」は医療介護福祉サービスに付随するものが全てではありません。地域への社会貢献、職員同士、医療機関同士など全ての接点に「コト医療」はあるはずです。この「コト医療」という果実を実らせることにより、患者様、利用者様、地域の皆様、職員の皆さん、全ての関係者が尚寿会グループとかかわりを持って良かったと思っていただくことが、尚寿会グループの存在意義だと考えています。



# 職員心得12カ条

職員心得12カ条とは、尚寿会が職員に期待する行動基準です  
法人理念ならびに職員心得12カ条を念頭に置きながら、  
年間を通して業務にあたります

- ① 挨拶から始まるコミュニケーション。「おはよう」「お疲れ様」「お大事に」は、どんな時でも自身から。
- ② 職員は誰もが明るい笑顔で仲良くし、常に話し合いの場を持ちましょう。
- ③ 自己管理と周りへの配慮を忘れない。常に謙虚でいましょう。特に管理者は謙虚でいましょう。
- ④ 伝達事項は正確に、聞くときも正確に。経過報告は忘れずに、仕事は報告をもって完了。
- ⑤ 思いやりを忘れずに。そうしてもらいたいと思う形で対応しましょう。
- ⑥ 患者さんを最優先で考えましょう。やさしく、解りやすく検査や治療の説明をしましょう。
- ⑦ 医療を取り巻く厳しい環境を常に実感し、自らがそれぞれの立場・責任を強く自覚しましょう。
- ⑧ 患者さんの多様性を持った考え方をオープンに受け入れ、その経験を蓄積しましょう。
- ⑨ 最高のスタッフを引き付け、一生懸命に学習・教育・再教育をしましょう。
- ⑩ 質の高い慢性期医療・看護・介護・真心の提供をお約束することで、他医療機関との差別化を図りましょう。
- ⑪ 私たちの本来の目的は、医療・看護・介護を通じて、患者さんに幸せな一生を送って頂く事です。
- ⑫ 結果を重視し、目標を達成しましょう。



# 施設紹介

## 狭山尚寿会病院【B棟(写左)・C棟(写右)】



**日本医療機能評価機構認定病院**  
 狭山市唯一の慢性期医療を主軸とした医療機関。地域包括ケアの中心的医療機関を目標に、質の高い医療・看護・介護環境を提供

**認知症疾患医療センター**  
 平成27年度から「認知症疾患医療センター」を開設。県西部の認知症医療の中核病院として理解を深める啓蒙活動や認知症相談を実施

【診療科目】内科、皮膚科、老年精神科、精神科、心療内科、内科、リハビリテーション科、皮膚科、放射線診断科、歯科、口腔外科

【病床数】706床

【B棟】医療療養病床206床、地域包括ケア病棟50床、回復期リハビリテーション病棟42床、特殊疾患病棟55床/併設：透析室

【A・C棟】認知症治療病棟153床、精神療養病棟52床、特殊疾患病棟148床  
 併設：認知症専門デイケア、オレンジカフェのどか

## 介護老人保健施設 愛



**介護老人保健施設**  
 自立支援・在宅復帰を基本に、ご利用者・ご家族の皆さまが住み慣れた地域で自分らしい生活を送れるよう支援

定員/入所(短期入所含)100名(10ユニット・全室個室)  
 併設事業所/通所リハビリテーション

## 大生水野クリニック



**地域に根差したクリニック**  
 耳鼻咽喉科、整形外科、リハビリテーション科、歯科・歯科口腔外科、泌尿器科、専門外来(音声・嚥下外来)

在宅介護支援センター21彩  
 在宅サポート21狭山訪問看護ステーション



狭山尚寿会病院 A 棟内

## メディカルデイつむぎ



**リハビリテーション特化型**  
 理学療法士・言語聴覚士・看護師が評価を行い、効果的な運動プログラム・生活のアドバイスを実施

## 入曽地域包括支援センター



入曽駅前(狭山市委託事業)

## わが家入曽



**サービス付き高齢者向け住宅**  
 介護・医療と連携し高齢者の安心を支えるサービスを提供する住宅  
 バリアフリー構造木造地上2階建/定員22名(22部屋)

## 水野地域包括支援センター



特別養護老人ホーム福寿の里内

# 数字で知る尚寿会 (2023年4月現在)



法人職員数

約 **1,030** 名

常勤

**792** 名

非常勤

**238** 名



男女比率



男性 **30%** 女性 **70%**

平均年齢(全体)

**48** 歳

平均勤続年数

**10** 年

10年以上勤続者数

**437** 名

年間休日

**123** 日

育休取得数

男性 **4** 名

育休取得数

女性 **17** 名

女性管理職

**58%**

有給消化率

**78.1%**

有給取得日数

**13** 日

※2023年度実績

**B棟**



入院患者数

延 **140,851** 人

1日平均

**385.8** 人

病床稼働率

**95.5%**



外来患者数

延 **27,664** 人

1日平均

**113.8** 人



**C棟**



入院患者数

延 **94,498** 人

1日平均

**258.9** 人

病床稼働率

**90.2%**



外来患者数

延 **10,145** 人

1日平均

**41.6** 人



# 尚寿会のリハビリテーションについて

尚寿会のリハビリテーションは大きく分けて

①診療 ②施設 ③在宅支援 の3つに分かれています

## ①診療

### 狭山尚寿会病院【身体部門】

回復期病棟、地域包括病棟、慢性期療養病棟、特殊疾患病棟、認知症治療病棟があり、入院から在宅、地域活動まで多職種連携で幅広いリハビリテーションを提供しています。また施設内に6時間の通所リハビリテーションがあります。

### 狭山尚寿会病院【精神部門】

埼玉県西部地区の「認知症疾患センター」(県指定)の役割を担い、鑑別診断、症状への対応、情報発信を行っています。認知症治療病棟、精神療養病棟、特殊疾患病棟があり、外来、医療保険で行う6時間のデイケアがあります。地域の支援活動や、情報発信など疾患センターの役割に対してもOTが活躍しています。

### 大生水野クリニック

耳鼻咽喉科、音声嚥下外来、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、歯科・口腔外科があります。リハビリテーション科は整形疾患を中心に、お子様から高齢者まで幅広い年齢層に対応し、手術後、回復期病棟退院後の外来リハビリテーションを積極的に行っています。

## ②施設

### 介護老人保健施設 愛

全室個室のユニット型の介護老人保健施設です。10名1ユニットとして家庭的な雰囲気のなかで個別ケアを行います。ケアプランのもと「こうなりたい」という目標にむけて、介護・看護・リハビリの専門スタッフがチームとなってサポートします。施設内に運動に特化した短時間通所リハビリテーション、言語に特化した専門コースがあります。

### 社会福祉法人 尚栄会

特別養護老人ホーム 福寿の里  
全室個室のユニット型の特別養護老人ホームです。PTは入居者様の評価、車いすなどの福祉用具選別、環境設定、機能訓練、職員への介助方法などアドバイザーとしての働きもあります。



## ③在宅支援

### 在宅サポート21 狭山

#### 訪問看護ステーション

看護師、介護職、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士(非常勤)が所属しています。狭山市、所沢市を中心に訪問看護、訪問リハビリ、訪問介護、定期巡回を行い、多職種連携で利用者様とご家族様の生活を支えます。

### 通所サービス

尚寿会グループには4つの通所施設があり、住み慣れた地域で安心して暮らして頂くために、「連携」強化を図っています。利用者様の生活、心身機能など状況に変化が見られた場合、その時に応じた適切な通所を選び、切れ目のサービスをご提供する事が可能です。

- ・老健愛通所リハビリテーション
- ・通所リハビリテーション野の花
- ・デイケアあさひ
- ・メディカルデイ つむぎ

尚寿会グループの各施設には100名を超えるセラピストが配属。尚寿会のリハビリテーションは、専門職として新しい知識・技術の研鑽に努め、多職種連携でチームを組み、あらゆるステージの患者様、利用者様、ご家族様へ質の高いリハビリテーションを提供致します。また、疾患や障害を診る前に1人の患者様、利用者様を診る姿勢を大切に、「コト医療」と言う価値観をもって全ての方と真摯に向き合います。専門性を活かし回復期から在宅までを切れ目なくサポートすることで、地域貢献までの幅広いリハビリテーションを展開しています。



## 身体部門(全353床)

### 病床数内訳

医療療養病棟	206床
地域包括ケア病棟	50床
回復期リハビリ病棟	42床
特殊疾患病棟	55床
通所リハビリテーション(6時間)	45名/日

### 施設基準・対象疾患

脳血管疾患リハビリテーションⅠ、運動期リハビリテーションⅠ  
呼吸器リハビリテーションⅠ、心大血管リハビリテーションⅠ  
がんのリハビリテーション、回復期入院料Ⅰ

脳血管障害、整形疾患(骨折、脊損、RAなど)、神経難病  
(ALS、パーキンソン等)、心大血管疾患(心筋梗塞、心不全  
等)、呼吸器疾患(POCD、肺炎等)、癌、内科疾患(透析等)、  
廃用症候群、認知症

## 精神部門(全353床)

### 病床数内訳

認知症治療病棟	153床
精神療養病棟	52床
特殊疾患病棟	148床
医療保険のデイケア	25名/日
外来(いきいきクラブ)	10名/日(初期の認知症対応)

### 施設基準

精神科作業療法、認知症リハビリテーション

# 職員数(内訳)

## 身体部門

PT30名、OT22名、ST7名  
マッサージ2名、助手2名

## 精神部門

OT19名、助手4名



## 在宅部門

通所リハビリ「野の花」  
PT3名、OT1名、NS2名、CW23名  
デイケアあさひ  
OT1名、NS1名、PSW1名、CW7名



# 出身校一覧

医学アカデミー	帝京平成大学
金沢リハビリテーションアカデミー	東京医薬看護専門学校(ST)
川崎医療福祉大学	東京家政大学
関東リハビリテーション専門学校	東京都立医療技術短期大学
群馬医療福祉大学	東北文化学園大学(ST)
健康科学大学	常葉大学
国際医療福祉大学	新潟リハビリテーション大学
犀潟病院附属リハビリテーション学院	日本医療科学大学
埼玉医科大学	日本医療福祉大学
埼玉医療福祉専門学校	日本リハビリテーション専門学校
埼玉県立大学	人間総合科学大学
滋賀医療技術専門学院	文京学院大学
社会医学技術学院	目白大学(ST)
多摩リハビリテーション学院	臨床福祉専門学校(ST)
千葉・柏リハビリテーション学院	早稲田医療技術学校
つくば技術大学	

# 尚寿会リハビリテーションの育成・教育体制

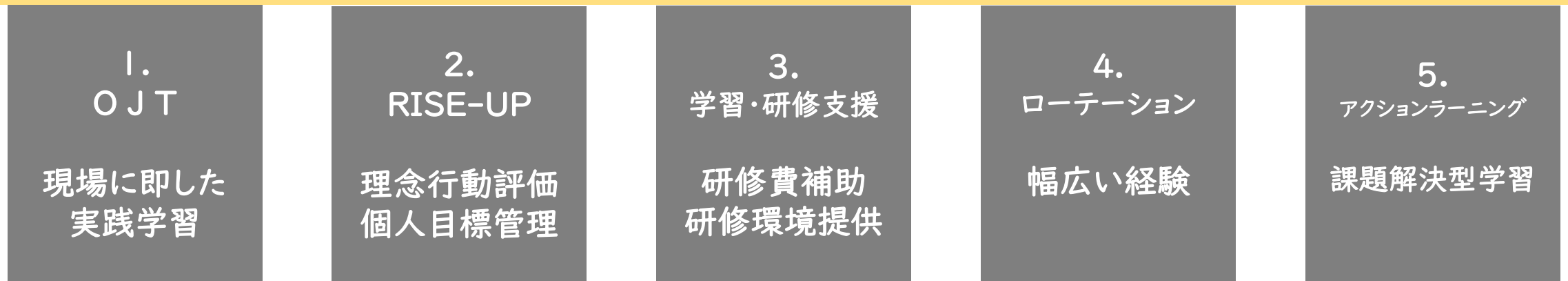


尚寿会リハビリテーション部では人材育成に力をいれています。新入職員数の多い狭山尚寿会病院では新卒から3年目までを対象に、臨床における様々な場面でOJTによる育成指導を行っています。  
狭山尚寿会病院における「卒後教育制度」をご紹介します。

セラピストに  
“求められる”  
“期待される”  
考え方

医療法人尚寿会の理念行動を实践できる  
他者に対して、思いやりを持って寄り添う事ができる  
社会人として必要なマナー及び一般常識を有している  
人は絶対ということはない為、正直に報連相ができる  
医療人として向上心を持ち、自己研鑽に努める事ができる  
どんな環境においても自身の目的を持って業務に臨める  
一療法士として地域からも信頼される、地域保健に貢献できる  
チームの一員として力を発揮する、多職種連携を体現できる  
心理的安全性を基盤とする職場風土を体現・醸成することができる

## 専門職として成果をあげるための5つの柱



成果とは？

- ✓ 患者様をよくすること(元気でいられること・感動・満足)  
↳ 動作能力(ADL含)、生活能力(生きること)、自立性・主体性・QOL
- ✓ スタッフの成長(成果があげられるように)
- ✓ スタッフの感動・満足(仕事を通じた幸せを感じられていること)
- ✓ 組織を良くすること(成果があげられるように)、業績
- ✓ 地域貢献(保健)、地位向上(組織・地域・社会)

## 卒後教育プログラム(1~3年次)

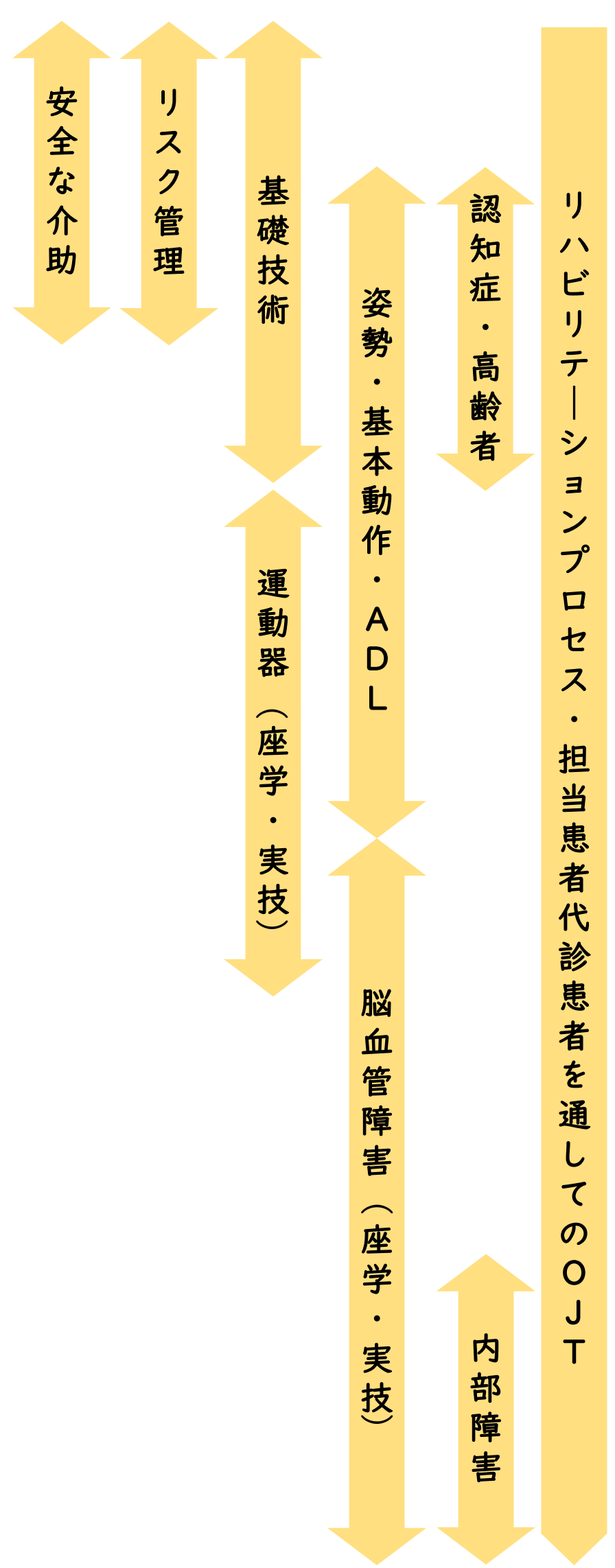
自己学習・自己研鑽・自己啓発

## 卒後教育委員会

教育・育成・能力開発はリハビリテーション部の業務の一環として行われるもので、教える側もバラバラに教授するものではなく、一貫性・統一性が必要です。また、卒後教育の質の担保のためにも委員会を組織して指導者研修にも取り組んでいます。



# ✿ 新人教育年間スケジュール(身体部門)

	目標	目標単位	重点学習項目
4月	安全な介助、リスク管理 文献検索、勤怠管理 報連相、学習方針の理解 スケジュールの確認、 指導者との コミュニケーション	0	
5月		9	
6月	診療記録 回復期代診対象疾患 基礎知識・基礎技術 ユニットスタッフとの コミュニケーション		12
7月			
8月	理念・方針・目標の理解  悩み解決の手段  ツールを持つ  (報告・相談を含む)	15	
9月			
10月	書類作成  他職種コミュニケーション	18	
11月			
12月	日常定型業務の自立  スケジュール管理		
1月			
2月			
3月			

- ✓ OJTを中心に指導、振り返りの場を定期的に設ける(初めは高頻度)
- ✓ OJTはリハ提供場面以外の多職種との対応や送迎・病棟に降りた時の動き方などの見学も可
- ✓ 直近で実施したOff-JTの項目に沿った患者に対してOJTを行うことを推奨
- ✓ 指導を受け出来ると判断(勘案)されたものを単独で実践していく
- ✓ 年間を通してできるだけ多数の症例に関われるように進めていく

# ✿ 新人教育年間スケジュール(精神部門)

	新人教育プログラム	ユニット業務目標	科内業務目標
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 社会人としてのマナー</li> <li>• リハスタの使用</li> <li>• 担当ユニット業務</li> <li>• 各療法の活用</li> <li>• 評価について</li> <li>• 身障リハビリ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 病棟に慣れる</li> <li>• 病棟患者様に慣れる</li> <li>• カルテ記入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 職場、同期に慣れる</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 先輩OTと休日出勤 ⇒病棟活動の経験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 活動リーダーの経験</li> <li>• 認知リハの実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 通常業務を把握する</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 先輩OTと休日出勤 ⇒病棟活動の経験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 活動リーダーの経験</li> <li>• 認知リハの実践</li> </ul>	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 先輩OTと休日出勤 ⇒病棟活動の経験</li> <li>• 計画書の作成 ↳精神科作業療法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 活動リーダーの経験</li> <li>• 認知リハの実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 勉強会を担当する</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 休日出勤の自立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 活動リーダーの自立</li> <li>• 認知リハの自立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 通常業務の自立</li> </ul>
9月		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 病棟カンファレンスの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 行事担当の経験</li> </ul>
10月		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 病棟カンファレンスの参加</li> </ul>	
11月		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 病棟カンファレンスで発言</li> </ul>	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 計画書の作成自立</li> <li>• アナムネの経験</li> <li>• 計画書の作成 ↳総合実施計画書</li> </ul>		
1月			
2月			
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アナムネの自立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 病棟カンファレンスの自立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※2年目から疾患センター業務が加わる</li> </ul>

# ジェネラリストの育成

WHO(世界保健機構)によると「リハビリテーションとは能力障がいあるいは社会的不利を起こす諸条件を減少させる為にあらゆる措置を取ること」とあります。それ故にリハビリテーションの対象は疾病ではなく障がいであり、私達リハビリ専門職は、患者の能力障がい、社会的不利など全体像を捉えることが重要となります。亜急性期・回復期・生活期の疾患・時期に限らず、患者様・利用者様の障がい像全体を捉える事が出来るように、どの分野でも一定の知識・技術を擁するGeneralistの育成が卒業教育で最初に目指すべき像と考えます。

# 共に学び・共に育つチーム制

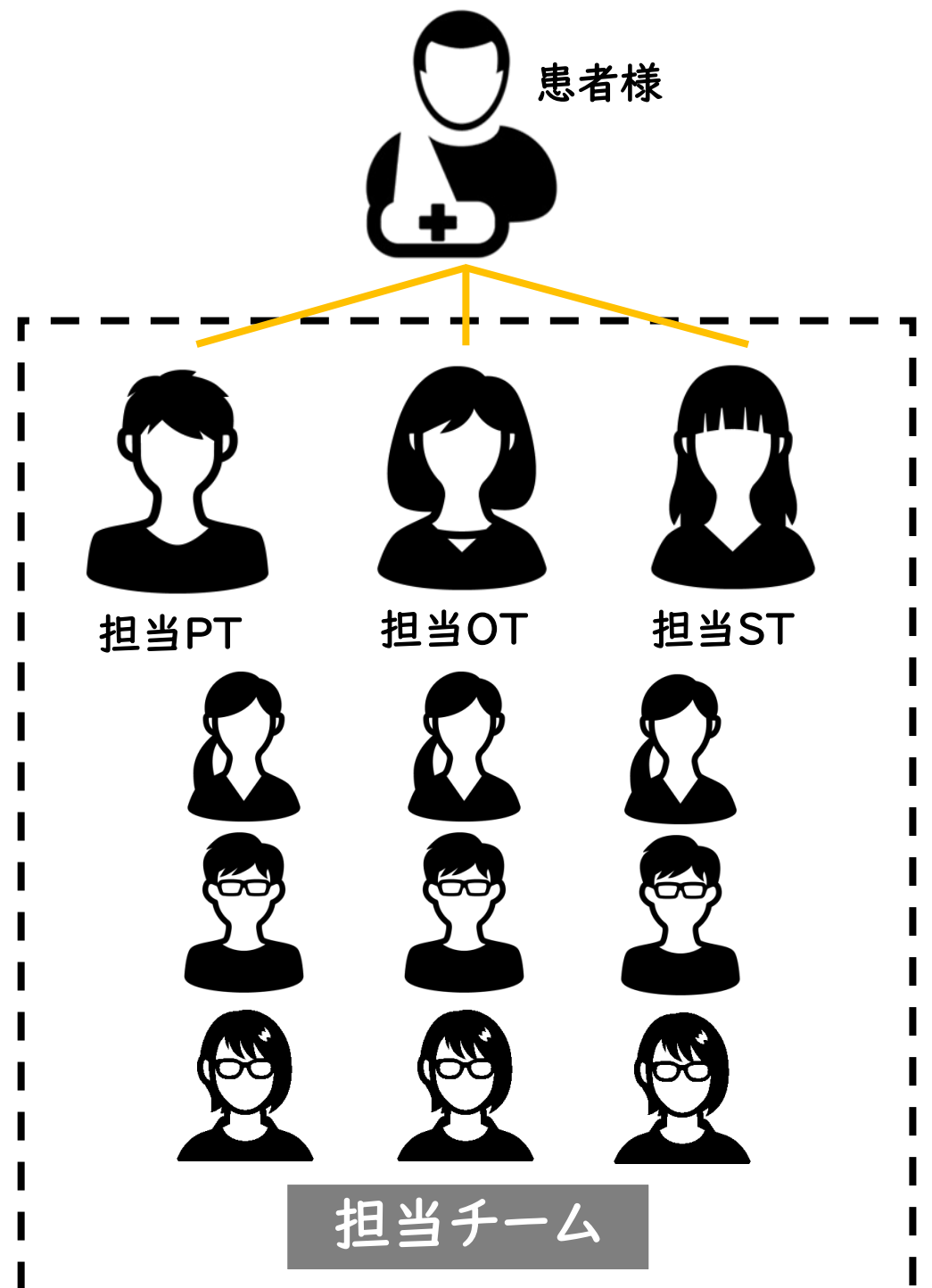
基本的には個別担当制ですが、患者様へのサービスの質の担保と担当者の育成フォローの両方をチームで行うようにしています。

一人の患者様を複数で受け持つのではなく担当者が最後まで責任をもってリハビリテーションを行います。そしてチームは担当者を支援し「共に学び・共に育つ」を目指します。

チーム制には3つの要素が備わっています

- ①個を活かす・個を伸ばす  
～個の強みをチームへ広げ、  
個の弱みはチームでカバー～
- ②担当任せにしない充実したサポート  
～チームで患者様情報を共有、  
相談しやすい雰囲気づくり～
- ③知識・経験のシェア  
～活発な情報共有と情報交換、  
共に学び・共に育つ～

## 患者担当例



## 尚寿会リハ 所有資格

認定理学療法士(脳血管、運動器、地域、スポーツ、管理)、心臓リハビリテーション指導士、呼吸療法認定士、認知症ケア専門士、地域包括ケア推進リーダー、介護予防推進リーダー、フレイル対策推進マネージャー、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士、臨床実習指導者講習会終了、介護支援専門員

# 🌸 1日のスケジュール

8:45

出勤 マイカー通勤、最寄駅から送迎バス有  
朝礼

9:00

AMリハビリ業務

- ・カルテや書類の業務は仕事の合間や夕方に行く
- ・慢性期病棟では、病棟との協業として車いすへの離床、ポジショニングなどを行います
- ・月に1回の全体ミーティング、全体研修会等があります

~  
12:00

12:00

お昼休憩

- ・お昼は食堂にて職員用のお弁当（予約制）があります

12:55

リハ室清掃

PMリハビリ業務

13:00

- ・病棟カンファレンス

- ・ユニットチームミーティング

- ・月に1~2回ユニットでの勉強会、症例検討会があります

~  
17:15

退勤

- ・残業が少ない為、ワークライフバランスがとりやすいです



## 尚寿会リハ 勤務体制

基本的に勤務は週休2日制です。身体部門の回復期病棟は365日制、精神部門も土日、祝日勤務があります。また、通所系は土曜、祝日も運営していますので、それぞれの部門で休日出勤は概ね月に2回ほどあります。休日出勤の際は「休日出勤手当」がつき、翌週以降の平日に振休が取れます。



# 🌸 ジョブローテーション

多くのチーム医療の経験、専門職・ジェネラリスト育成の為にはローテーションによる経験と視野、知識と技術を広げることが大切であると考えています。

## 身体部門

フロア毎に担当病棟を組み、それを「ユニット」と呼んでいます。回復期病棟以外は2つの病棟を受け持つ形でPT・OT・STを配置し1チームとしてとり組んでいます。新入職後、1~2年の期間で「ユニット」の異動を行い、回復期病棟、地域包括ケア病棟、慢性期療養病棟、特殊疾患病棟を経験していきます。3年間の卒後研修が終了した時期からクリニックや訪問看護ステーションなどの外部施設や介護保険施設へローテーションをしていきます。

## 精神部門

認知症治療病棟、精神療養病棟を中心にユニットを組み、4~5人のOTを配置しています。各ユニットを概ね1~2年の期間でローテーション。入院スタッフとは別にデイケアにもOTを配置しています。その他、埼玉県西部地区の疾患センターとして自治体や学校、企業へ出向き、認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座を開催。狭山市指定の認知症初期集中支援チーム、隣市からの委託事業にもOTが取り組んでいます。

# 先輩からのメッセージ

## 身体部門 S T

以前は新卒で回復期専門の病院に入職しましたが、相談相手のいない環境は想像がつかず、シフト制によるプライベートとの両立の難しさを感じていたため条件として理想でした。尚寿会を見学した時、患者様の笑い声やセラピストの優しい声かけ、話し声の絶えない明るい環境が患者様とセラピストの関係を表しているように感じました。実際に入職してからも課題や対策を何気ないやり取りの中から教えて頂くことも多く、先輩方の気さくさに何度も助けてもらっています。

当院の魅力の一つにVE・VFによる嚥下の客観的評価が上げられます。回復期、地域包括、療養の全ての病棟において、主治医と相談のあと検査依頼が可能です。セラピストの主観的評価に加え、客観的な評価を頂き、より長く無理なく経口摂取を続けられるよう後押しをもらうことでリハビリやQOLの向上に繋がると感じています。見学の際に期待した「コミュニケーションが取りやすい雰囲気」は想像していたよりもずっと患者様の利となることがわかりました。

## 身体部門 P T

私は学生時代に当院に臨床実習でお世話になりました。実習中は指導者の方、病棟スタッフの方が親切で楽しい実習を終えることができました。また、実習中にセラピストが休憩時間を利用して自己研鑽をするなど知識や技術を共有している姿を見て魅力を感じ、自分もここに入職したいと思い今に至っています。

就職後は実習の際に関わらせて頂いた病棟に配属され、同じ指導者に入職後も指導いただくことができました。当院はスタッフ間の人間関係が良好で入職後も配属された先輩スタッフや所属以外のスタッフとも気軽に相談することができおり、患者様へのリハビリを実施することができています。

## 精神部門 O T

就職したきっかけは大学4年次の臨床総合実習で受け入れてもらった事です。2か月間実習させて頂いたときに感じたのは、先輩の皆さんがとても楽しそうに働いているという事でした。長い入院生活の中で、リハビリを楽しみにしている患者様も多くいらっしゃいます。その方々に新しい作業や活動を考案し、それに必要な道具を実際に作り提供していました。そして実際に行った患者様の楽しそうな顔や患者様に喜んでもらったことに対する先輩の嬉しそうな表情をみて「私もこんな仕事がしたい」と思いました。就職してみて、「あの時感じた事は間違いではなかった」と心から感じています。

毎日、患者様の体調の変化等の情報収集をして、その方に合ったリハビリを提案・提供する事で患者様から笑顔がこぼれ「また来たい」と言う声を聞くことができます。あさひ病院は患者様の人生に大切な「生きがい」を再び灯し、私達も共に生きがいを見つけられる職場だと感じています。



東京医薬専門学校2020卒  
広田 沙緒理



医学アカデミー2021卒  
進藤 寧月



群馬医療福祉大学2022卒  
長 瑠那

# よく聞かれる質問(リハビリ)

Q1

院内勉強会や研修会は、  
どのくらいの頻度で行われますか？

## Answer

身体部門の場合は月に1回全体勉強会、ユニット毎の勉強会や症例検討会があります。その他OT有志でのミニ勉強会、同期同士で不定期に基礎医学や触診などの学習会を開いています。精神部門の場合は全体で月1回の勉強会、症例検討会を開いています。また、STは耳鼻科医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士、管理栄養士合同で行う「接触嚥下症例検討会」を開催しています。大きなものとしては2年に1度、リハビリ全体で「リハビリテーション科学術集会」を行いテーマを決めて演題発表を行っています。

Q2

認定資格や学会発表に挑戦する際、  
先輩のアドバイスは受けられますか？

## Answer

受けられます。チャレンジしている先輩はたくさんいるので、相談して頂ければ大丈夫です。

Q3

ローテーション制では、  
希望した部署への配属は可能ですか？

## Answer

100%ではありませんが、職員の「やってみたい」気持ちを大事にしています。ローテーションは毎年役職者の会議で決めています。新人ばかりやベテランばかりに偏らないよう3職種のバランスを考えて配置を決めています。積極的な希望は大歓迎です。尚寿会の人事制度の中で年間2回以上の面談があるので、希望部署を役職に伝えて頂く事は可能です。希望しなくても異動して頂く場合もあります。その際にも必ずご本人と面談で話し合いをしてから実施となります。

Q4

仕事や生活面で精神的に辛くなった時は、  
相談できる場所やサポートは受けられますか？

## Answer

受けられます。まずは一人で抱えず先輩や役職者に相談してください。相談しづらい場合は職員相談窓口「ホットライン」があります。仕事をしていくと良いことだけでなく、リアリティショックやストレスを感じる事もあります。職員の心と体が元気でないと患者様、利用者様に対応することは出来ないと考えています。

## 職員寮

北は北海道～南は沖縄県と、尚寿会では全国から就職する職員が集まります。職員寮は尚寿会周辺にあるアパートで「自己負担3万円」で借りることができます。また、レオパレスとも契約が行えるため、必要最低限の家具等が備わっています。(利用条件有)



## 保育所(ひよこ園)

「働きたいけど子どもが預けられない…」 「できれば職場の近くがいい…」 など、働くママさんにとって欠かせないのが“保育室”です。尚寿会ではお子様の近くで安心して働けるように「ひよこ園」を完備しています。月極・臨時どちらも利用可能ですので職場に復帰しやすい環境が整っています。入職後に出産された方も多くの方が利用しています。

定員数【50名】

月極：生後2ヶ月～2歳児

↳3歳の誕生日を迎える年度末まで

臨時：生後2ヶ月～小学3年生

【利用料金】

常勤職員：10,000円/月極

非常勤職員：6,000円/月極(3回以下は日割)

✓ 基本保育料に給食代とおやつ代含む

✓ 保護者の勤務時間に応じて24時間運営

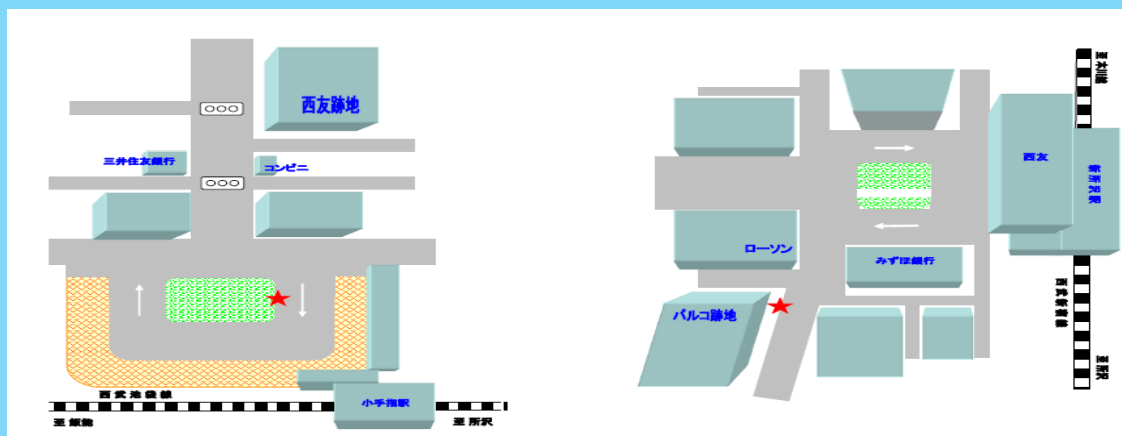
✓ 利用時間は始業30分前～終業30分後迄





【職員送迎バス(無料)】のご利用について

- ・西武池袋線「小手指」駅北口 7時55分発
- ・西武新宿線「新所沢」駅北口 8時15分発



お車、シャトルバスをご利用の場合

- ・ 関越自動車道所沢インターから30分
- ・ 関越自動車道川越インターから20分
- ・ カーナビをご利用になられる場合、当施設の電話番号またはマップコードを利用した検索が便利です。
- ・ 電話番号：04-2957-1141
- ・ マップコード：5 578 418

- ・ シャトルバス運行は月～土曜日（祝祭日を除く）
- ・ 時刻表はホームページをご覧ください。
- ・ 老健愛・大生病院・あさひ病院の各玄関前を経由して、病院発とします。
- ・ 運行時間の変更は、広報誌「しんあい」および病院内掲示でお知らせいたします。
- ・ 運転手のみの運行ですので介助が必要な方は、ご利用になれません。

# アクセスマップ



## 電車をご利用の場合

- ▶西武新宿線 入曾駅（本川越より16分）より約2.2km 徒歩約27分 タクシー約10分
- ▶西武新宿線 新所沢駅（所沢駅より5分）東口2番乗り場より「西武フラワーヒル」行きに乗車し終点「西武フラワーヒル」下車、徒歩約5分

# 選考について



### 見学会に参加

参加後、希望職種と面接日について採用担当者との日程調整。  
(後日応募する場合は電話または採用サイトから申込み)



### 個人面接

採用担当・現場責任者と対面で面接を行います。  
※事前に履歴書(顔写付)と成績証明書、卒業見込証明書を郵送。

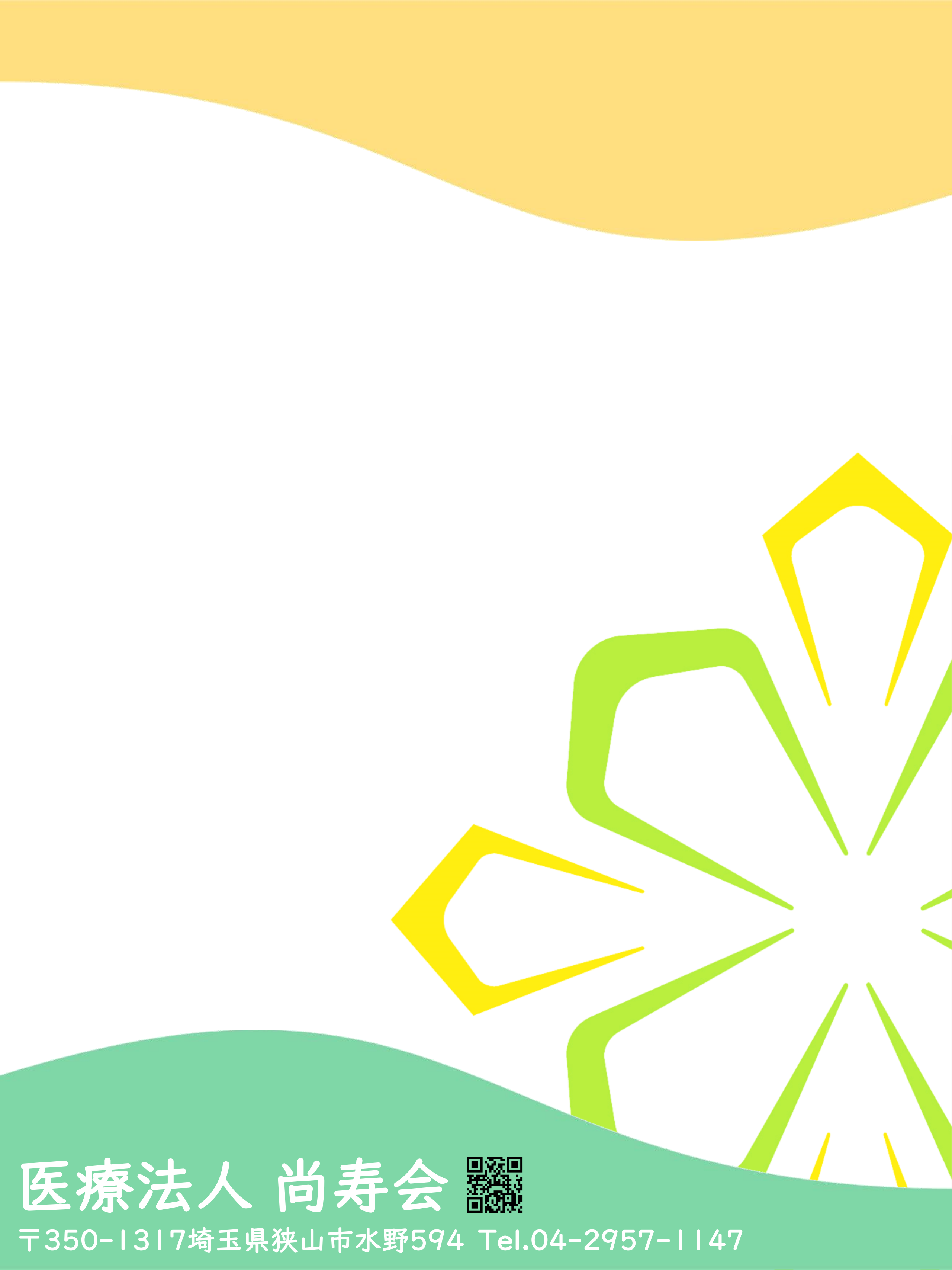


### 採用→尚寿会へ

面接後7~10日以内に結果を電話もしくは郵送にて通知。  
採用連絡後、必要書類を準備しユニフォームの採寸・部門長との顔合わせを行います。

医療法人 尚寿会 人事ES管理部 宛

Tel.04-2957-1147 担当:鈴木、有道



医療法人 尚寿会



〒350-1317 埼玉県狭山市水野594 Tel.04-2957-1147